

臨床研修センターだより



Vol.71 2020.1.31

●胸腔ドレーン挿入トレーニング

1月10日、胸腔ドレーン挿入トレーニングが行われ、6名の研修医が参加しました。最初に講義を受けた後、上級医の指導のもと、シミュレーターの人形を使って実際にドレーンを挿入するトレーニングを行いました。縫合についてもレクチャーがありました。

講義

概要説明の他「挿入前には画像、CTをしっかりとチェックする事。挿入後はしっかりと縫合し、合併症を起こさないようにする事。」など画像や動画を見ながら注意点を教わりました。



実技(ドレーン挿入)

- ①局所麻酔→空気が引けたら少し引いて麻酔する
- ②メスで切開
- ③ペアンで皮膚を剥離する
- ④剥離できたらドレーンを挿入する



実技(縫合)

- ①ドレーンの両脇を縫合する
 - ②固定の糸でドレーンをしばって糸を巻き付ける
- ※ドレーンをしっかりと固定しないと抜けてしまいます



研修医の声

- ・全く知らない方法から勉強できて、とても分かりやすかった。次回自分が挿入する時はきちんと出来るよう頑張りたい。(岡)
- ・挿入後の縫合をしっかりしないといけないと思った。縫合のコツを教わる事が出来て良かった。(藤島(智))

呼吸器内科医より

この講習で学んだことを活かして救急外来、呼吸器内科ローテ、呼吸器外科ローテでどんどンドレーンを入れていきましょう！(嶋田 有里)

●52 期初期研修医チームスクラブ

52 期初期研修医のチームスクラブを作製しました。病院のスクラブパンツに合うようにチャコールのスクラブにしました。ロゴは中央市民病院で各々の個性を輝かせながら働いている研修医を表現するために、十字の部分（海に囲まれたポートアイランドに見える）をゴールドにしました。胸には研修が終わって各地方に行っても、神戸を思い出して初心を忘れないようにポートタワーを入れました。残りの研修生活も研修医一同、悔いのないように研修に臨みたいと思います。（1 年次 岡）



▲ 胸ポケット



▼ 左袖

●初期研修を振り返って 前編

2018 年度採用の研修医の先生方の 2 年間の研修も残りわずかとなりました。「初期研修を振り返って、来年度に向けての抱負」をテーマに 2 年次の先生方にコメントをいただきましたので、今月・来月と 2 カ月にわたって紹介します。

2 年間で振り返るとあっという間でした。上級医の先生方には、医師としての基本的姿勢、診断・治療まで教えていただくことができ、大変有意義な初期研修となりました。引き続き当院で専攻医として勤務しますが、学んだことを生かし、後輩の手本となれるようにも頑張りたいです。（安藤）

当院での研修を通じて、救急医療、内科管理、各々の専門家での最先端医療を学ぶ事ができ、さらに実際の現場で患者様並びにご家族との関係性のつくり方、他職種の方々との連携の重要性を身につける事ができました。今後は救急、集中治療の現場から患者様への医療、そして後輩の先生方の指導にあたられればと思います。（出田）

初期研修の 2 年間は非常に濃密で充実した仕事生活を送ることができました。1 年目の頃は初めての事だらけで戸惑いの毎日でしたが、2 年目になるとある程度対応ができるようになり、少しずつ仕事に対する自信が出てきました。今年の 4 月からも引き続き当院で呼吸器内科として皆様のお世話になります。今後とも宜しくお願い致します。（井手）

2 年間ありがとうございました。指導熱心な上級医の先生方や優秀な同期に恵まれ、日々刺激を受けながら充実した研修生活を送ることができました。来年度からも専攻医としてお世話になりますので、引き続きよろしくお願いたします。（佐野）

2 年間大変お世話になりました。これまで多くの方々にご指導いただき、周囲にも恵まれ、充実した初期研修を終えることができました。こちらで学ばせていただいたことを生かしながら、今後も引き続き精進してまいります。（曾根）

当院での研修で特に勉強になったこととしては救急での初期対応です。Walk in の上気道炎など軽症例から 3 次の CPA まで様々な重症度の症例の初期対応に当たらせていただきました。この経験は将来どの病院に行っても財産になるはずで、来年度からは別の病院の腎臓内科で働きますが、当院での経験を活かして診療に貢献していきたいです。（福見）

優秀なスタッフと同期に囲まれ、ハードな研修を送りながら、時にくじけ時に心を奮い立たせ、早くも 2 年経とうとしています。2 年間の研修で磨いた臨床能力を土台として、当院研修医の名に恥じぬよう専門領域でいっそう努力していくつもりです。（藤沢）

2 年間ありがとうございました。どの診療科においても、非常に教育熱心な先生方ばかりで、たくさんの学びを得ることができた研修医生活でした。2 年間で得た知識や経験を糧に、来年度からは当院で泌尿器科として精進して参ります。今後ともよろしくお願致します。（峯）